



令和5年5月12日

各 位

会 社 名 アプライド株式会社  
代表者名 代表取締役 岡 義治  
(コード番号 3020)  
問合わせ先 取 締 役 山口 圭介  
電話 092-481-7801

令和5年3月期 通期連結業績予想と実績との差異及び  
個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

令和5年2月14日に発表いたしました令和5年3月期の通期業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

1. 令和5年3月期連結業績予想と実績との差異（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A) (令和5年2月14日)	百万円 35,000	百万円 1,500	百万円 1,500	百万円 950	円 銭 351.45
当期実績(B)	38,606	1,737	1,753	1,098	406.51
増減額(B)－(A)	3,606	237	253	148	
増減率(%)	10.3	15.8	16.9	15.6	
(ご参考) 前期実績	43,956	2,365	2,376	1,485	549.68

2. 差異の理由

連結売上高については、コンピューターや付帯サービスの販売が想定の水準より高く推移したことにより、計画値より10.3%増加しました。営業利益、経常利益についても、売上高の増加に伴う利益増等により、前回発表予想を上回ることとなりました。

3. 令和5年3月期の個別業績と前期実績値との差異（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	42,844	2,320	1,487	550.30
当期実績(B)	37,605	1,688	1,070	396.10
増減額(B)－(A)	△5,239	△632	△416	
増減率(%)	△12.2	△27.3	△28.0	

4. 差異の理由

売上高については、前期のリモートワーク等によるIT導入伸長からの反動減と、消費者マインドの停滞により、前期を12.2%下回りました。また損益面におきましても、売上高の減少に加え、ロシアのウクライナ侵攻の影響等によるエネルギー価格の高騰がもたらす運送費や水道光熱費等の上昇によりの諸経費が増加したことにより、経常利益は前期を27.3%下回ることとなりました。

以 上